

令和2年度 始業にあたって 校長より生徒、保護者のみなさんへ

はじめまして、新校長の小俣宏記です。永田前校長の思いを引き継ぎながら、甲府城西高等学校をさらに進化させていきたいと思っています。生徒の皆さん、また保護者の皆様、なにとぞよろしく申し上げます。

令和2年度が始まりましたが、今年度の始まりは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、紙面という形でのあいさつとなりました。皆さんを目の前にして挨拶できない現状を許してください。

新型コロナウイルス対策として、県内各高等学校は、昨年度末から一斉臨時休業を実施してきました。その結果、おかげさまで、県内においては小中高校生の感染者は一人も出ていない状況です。しかし、日本社会の現状は一斉臨時休業を始めた時点から変わっていないどころか、さらに悪化しています。

学校は、休業中ではありますが、年次、クラス、分掌としての機能はスタートいたします。社会状況が日々刻々と変化している現状を考えると、学校生活も現状に則した臨機応変の対応が求められています。

赴任して、まだ一週間足らずですが、通常とは異なる新型コロナウイルス対応に毎日追われているところです。そんな中、対応策を検討している会議において、この対応策を真剣に議論し、自分たちが汗を流してこの緊急事態に対応していこうとする先生方の姿勢に大きな感動を覚えました。甲府城西高校の先生方は、生徒思いで熱い先生ばかりです。信頼してついてきてください。

通常の学校生活の再開に向けて、感染しない、させないための対応をできる限りしていく予定です。今後様々な不便をかけることとなると思いますが、よろしく願いいたします。

また、部活動等様々な大会・イベントが中止・延期の措置が取られています。特に3年次にとっては、3年間頑張ってきた成果を披露する大事な行事に大きな変更が余儀なくされており、辛い・苦しい思いでいっぱいだと思います。

私たち、教職員もみんなの思いを理解し、受け止めて今後の学校生活に反映させたいと思います。よろしく願いいたします。

山梨県立甲府城西高等学校

校長 小俣 宏記